

**Q 雨水樹の掃除方法**

**A** 雨水樹が詰まる恐れがあるため、定期的(年1回程度)に清掃を行いましょう。



雨水樹は、雨樹やバルコニーなどから流れてくる雨水の中継地点です。雨水の配管の合流部分や、放流方向が変わるところに設置されることが多く、落ち葉や泥、砂などを沈殿させて、配管を詰まりにくくする役割があります。そのため、溜まったゴミを取り除き、掃除をする必要があります。浸透樹の場合、目詰まりを起こし、浸透機能が作用しなくなる恐れがあります。



使い古しのおたまや、油こしを使うと便利です。



雨水樹の底に沈殿している枯葉や泥、砂などをすくい出します。浸透樹の場合、樹底に見える透水シートを破らないように注意しましょう。



雨水樹内にヘドロが多く溜まると、配管を通してバルコニーまで臭うことがあります。最後はシャワーなどで、汚れを洗い流しましょう。

**△注意**

- ・掃除後はきちんと蓋をしてください。蓋を開けたままにしたり、蓋がきちんと閉まっていないと、足を踏み外して大変危険です。
- ・雨水樹の中には水が溜まっています。小さな子どもはおぼれる危険がありますので、普段から蓋の上で遊ばないように注意してください。
- ・耐荷重以上のものを置いたり、車両を乗り上げたりしないようにしましょう。